



# ねずみっ子 だより

No. 1

## 楽しい幼稚園

幼稚園は子供が初めて出会う学校です。

子供たちは、幼稚園で楽しく遊びながら、多くのことを学習します。

遊びを通して運動機能が発達し、自分のことが自分でできるようになり、言葉もたくさん獲得していきます。時には、トラブルや葛藤を経験し、人とのかかわり方を学び、嬉しい、悲しい、くやしい、美しいなどの多様な感情体験をします。また、遊びを通して、知的好奇心も旺盛になっていきます。

このように、家庭では経験できない集団生活を通して、生きる力の基礎を培っていくのが幼稚園です。

家庭での基本的な生活習慣の育成と相まって、社会生活における生活習慣を身につけていくことも、幼稚園での大事な学習です。幼稚園では、一人一人の発達に合わせて、よりよい成長発達を促ようさまざまな工夫をしながら保育に取り組み、子供たちの成長を見守っております。



## 幼稚園と家庭との連携

子供たちが幼稚園で充実して過ごすためには、家庭との連携が大切です。

「家庭は教育の原点であり、全ての教育の出発点である」と言われるように、家庭において子供たちは、たくさんの経験をし、家庭環境の影響を受けながらさまざまな育ち方をしております。個々に育ちの速度も異なり、心身の発達には個人差があります。

そのような家庭での育ちを踏まえて、幼稚園では、教育の重要な第一歩を家庭と手を携えて進めていきます。

子供の意欲や協調性・社会性などは、家庭だけでは育ちにくい面もあります。

幼稚園と家庭とがそれぞれの教育的役割を理解し、子供たちのよりよい発達を助長することをめざして、相互に連携していくことが不可欠です。

## 「プレ保育」の良さ

幼児期の子供たちは、二歳頃になると社会性の芽生えが見られるようになり、友達が必要になってきます。友達と一緒にいることで、自分以外の者の存在に気付き、ことばを覚え、自分の思いが言えるようになり、かかわりが生まれてきます。時には、自分の思うようにならないと、泣いたり噛みついたりトラブルになることもありますが、その体験を通して、対人関係を学びます。

しかし最近は、少子化や交通事情などにより、近くに友達や遊び場がなく、子供を取り巻く環境は困難な状況です。

そこで、幼稚園のよい環境の中で、同年齢の友達とかかわって遊ぶプレ保育が必要になってきます。

プレ保育では、二歳児の発達を踏まえて、基本的な生活習慣や友達とのふれ合いを重視した、楽しい保育を行います。

その経験が活かされて、子供たちは次第に身の自立へと向かっていきます。

## 「預り保育」は子供のオアシス

近年、女性の社会進出がすすみ、仕事をしているお母さんが増え、預り保育の必要性が出てきました。

勝愛幼稚園では、そんな子供のために降園後を家庭と同じような過ごし方ができるように、専用の部屋を用意して、専任の保育者により保育を行っています。

そこでは、友達同士でのびのびと自由に遊び、疲れるとソファで休息したりおやつを食べたりしながら、夕刻までをくつろいで過ごしています。

預り保育の中では、異年齢の友達とも一緒に遊び、よい人間関係も生まれます。

家庭と同じような暖かい雰囲気の中で子供たちの心のより処となるような預り保育の充実が大切だと思います。



## 保護者からのQ&A

### Q.子育て支援センター地域開放事業とはどんな事業ですか。

A. 国による子育て支援の施策に基いて、平成十二年度から子育て支援センター事業がはじまりました。  
母親の社会進出によるものや育児経験の不足などによる育児不安を取り除くために、子育て支援をしたり、情報提供をしたりして、お母さんの不安解消に努めます。園で預り保育をするのもこの事業の一環です。

### Q.この事業は、保護者の費用軽減の補助対象となるのでしょうか。

A. 子供たちの育ちを支えるために園庭開放したり、預り保育をしたり、育児情報を提供したりして、母親を支援するために、園が条件整備をすることであって、直接個々の保護者に対応するものではありません。

### Q.三歳児の保護者より三歳で入園させるのと四歳で入園させるのとどちらが良いか迷っている。

A. 三歳では社会性も発達してきて、同年齢の友達が必要な時期になってきます。集団生活での経験が発達にも良い影響を及ぼすので三歳で入園されるのが望ましいと思います。生活習慣の面でも、ことばや運動機能の面でも、友達とのふれ合いを通して発達が促進されていきます。家庭とは異なる教育的環境の中で三歳から過ごすことは有効だと思います。

### Q.発達に不安のある幼児の保護者より三歳で入園させたいが受け入れてもらえるか。

発達に不安のあるお子さんも、一つの個性だと考えて受け入れています。一人一人事情は異なりますので園での教育と相まって、専門家の指導を受けながら、対応いたします。安心してご相談ください。お子さんに応じた方法を考えましょう。

### Q.二歳半の男の子の保護者よりことばが遅いので心配している。大丈夫だろうか。

A. ことばの発達には個人差があります。自分の思いを、ことば以外の方法で意思表示できているかどうかで判断できます。生活面での行動を見て、発達に問題がなければ、ことばはこれからの生活の中で獲得できていきますので、不要な心配はなくてもよいと思います。どうしても心配ならば、専門家に指導を受ける方法もあります。

### Q.爪かみの癖のある男の子の保護者より保健所の三歳児検診で厳しく注意をしてなおさなければいけないと言われた。どうしたらいいか。

A. 爪かみの程度にもよりますが、癖の行動は、所在なく呆然とした時や眠くなった時に無意識にできていると思います。できるだけ、お子さんの興味関心を呼びさますようなかかわりを心がけてみてください。むやみに厳しく禁止するだけでは効果的ではないように思います。

### Q.三歳が近づくのに、おむつがとれない。どうしたら自立するか。

A. おむつがとれない原因はいくつありますが、その一つに紙おむつによる排尿の習慣が考えられます。一、二回排尿しても、さらさらで不快感がない為に、そのまま平気で過ごすことが習慣づいてしまいます。  
お母さんの方もおむつをしているからと安心するのではなく、トイレで排尿できた時をとらえて、しっかりほめてあげ、意識づけていくようにしましょう。それを繰り返しているうちに、自立できるようになります。

## 勝愛幼稚園のプロフィール

創立 昭和44年4月  
所在地 松山市土居田町841番地  
園児数 認可定員 491名

### 保育目標

強くはばたけ 大きくのびよ

### めざす幼児像

げんきな子  
かしこい子  
やさしい子  
がまんづよい子

## 保育の特色

- (一) 遊びを通して、総合的に指導します。
  - 人とのかかわりの中で、思いやりの心を育てます。
  - さまざまな活動を通して、自主性や意欲を育てます。
  - 表現力や知的好奇心の旺盛な子供に育てます。
  - 運動遊びを通して、健康な体と強い心を育てます。
- (二) 基本的生活習慣の育成をめざします。
- (三) 家庭・地域との連携を重視した保育を行います。

## 幼稚園の環境と取り組み

- 広い園庭と大型総合遊具や固定遊具
- 四季を取り込む自然環境の工夫
- 各種楽器の充実
- 保育室環境の整備、各室トイレ、手洗い場完備
- 通園バスの整備、運行
- 預り保育および給食の実施

大切な人格形成の基礎づくりの時期を子供と共に歩み、将来に期待を託していきたいと思ひます。